

地域おこし協力隊が着任

新たに2人の地域おこし協力隊が着任しました。
地域おこし協力隊とは、高齢化や人口の減少に対応するため、都市地域の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行い、その定住・定着を図ることで、地域力を維持・強化していくことを目的とする取り組みです。
今回着任した2人の任期は、「令和6年4月から令和7年3月(最長3年間まで延長可能)」までとなっています。

- 隊員 福井 敬祐
- 出身 北見市
- 年齢 38歳
- 好物 小松菜、きゅうり、刺身、肉(鶏⇒豚⇒牛の順に好きです!)



- 活動テーマ
タウンメンテナンス

- 活動内容
 - 大型自動車免許など資格を生かした道路や公園などの施設の維持管理
 - 公園などの魅力向上に向けた企画
 - 元プロギタリストの経験を生かしたギターの指導や音楽イベントの企画・参加
 - 訓子府町の魅力を SNS により情報発信

- 隊員 小見 飛翔
- 出身 訓子府町
- 年齢 20歳
- 好物 オクラ



- 活動テーマ
スポーツアドバイザー

- 活動内容
 - 町民向け運動事業の企画
 - 各種運動指導(現在はスポーツセンターや児童センターで指導しています)
 - スポーツ施設の魅力向上に向けた企画
 - 訓子府町の魅力を SNS により情報発信

個別テーマのほかに共通業務として、①地域おこしの提案と実践②協力隊員同士の連携・協働活動③地域活動への参加および参画(自治会活動・イベント・祭りなど)④そのほか、各種まちづくり事業への参加を設定しています。

地域などの集まりには、積極的に参加しますので、お気軽にお声掛けください。

- 問合せ 経済振興室振興係 (☎ 33-5008 役場2階 窓口13番)

石田さん(日出)、三浦さん(仲町)交通安全指導員退任に当たり感謝状贈呈



※写真左～石田さん、中央～三浦さん、右～小川部長

長年、交通安全運動の推進に取り組まれた石田茂憲さんと三浦洋一さんが交通安全指導員を3月末で退任するに当たり、3月19日に伊田町長から感謝状を贈呈しました。

石田さんは平成14年から現在まで22年以上、また、三浦さんは平成18年から現在まで12年以上にわたり、毎月交通安全の日に登校時の立哨をはじめ、交通安全街頭指導など、交通安全意識の高揚と交通事故防止に貢献されました。

ご寄付ありがとうございます 故伊藤知鳥氏のご遺族から200万円

町の社会体育振興に尽力いただき、昨年12月27日にご逝去された伊藤知鳥さんの長男伊藤嘉高さん(北見市)から、3月18日に200万円の寄付がありました。

役場を訪れた伊藤さんは、「町の社会体育振興に活用していただきたい」と故人の意思として、寄付金を伊田町長に手渡しました。

寄付金は、町のスポーツ振興のために使われます。

伊藤さんは昭和58年から平成26年までの30年にわたり、訓子府水泳スポーツ少年団の指導者を務めたほか、スキー少年団やオホーツク玉入れ協会など、数多くのスポーツ団体に所属し、町の発展に貢献されました。



北見警察署との犯罪被害者等支援に関する協定締結



訓子府町と置戸町で犯罪被害者等支援条例が4月1日に施行されることから、北見警察署は、3月28日に2町と犯罪被害者を支援するための協定を締結しました。この条例は町民が安心して暮らせる地域社会の実現に寄与することが期待されています。

第13回まちづくり推進会議を開催しました

第13回まちづくり推進会議を3月26日に町公民館多目的ホールで開催しました。

まちづくり推進会議とは、町民が主体的にまちづくりに参加できるように、町民の意見をまちづくりに反映させることを目的として、定期的開催している町民参加型会議のことで、

今回のまちづくり推進会議では、以下のテーマについて、活発な意見交換を行いました。

会議のテーマ

- まちの課題について②
- ・ 今回会議の目的、前回会議の振り返り、今後の流れについて
- ・ 会議のテーマについて
- ・ 専門部会について

※会議の内容については、紙面の関係上、省略しています。詳細な会議の結果については、右記QRから町ホームページまたは、まちづくり情報コーナー(役場庁舎1階、図書館)でご確認ください。



- 問合せ 政策推進課企画広報係 (☎ 47-2115 役場2階 窓口11番)